



和気あいあいとプレーする参加者

「グラウンドゴルフ大会(G会長杯)」が5月17日、南方総合運動場で開かれました。町内のグラウンドゴルフ協会会員や初挑戦の高齢者ら約110人が参加。上級者の協会員が初心者にスティックを振りぬく力の加減や、ホールポストを狙うポイントなど、丁寧に指導しながら競技が行われました。コート上では対戦相

ホールポストを狙って 南方でグラウンドゴルフ大会

手との会話で終始大きな笑い声飛び交うなど、和やかな雰囲気の大会となりました。参加者は「日ごろあまり体を動かす機会がないので、同年代が集まってグラウンドゴルフや会話ができて楽しめました」と話してました。大会結果は次のとおりです。
【優勝】佐藤栄一さん
【準優勝】中津川史郎さん
【第3位】千葉徳得さん

ユニホーム姿で活躍を誓う

スポーツ少年団中田支部結団式



それぞれのユニホーム姿で今後の活躍を誓う団員たち

平成18年度市スポーツ少年団中田支部の結団式が5月15日、なかだアリーナで開かれました。式には今年度新規登録の中田中野球クラブを加えた25単位の団員が、それぞれのユニホー

ム姿で参加。日ごろの活動内容や指導者が紹介されました。団員を代表して石森女子バレーボール部少の佐々木玲奈さん、熊谷真弥さん(ともに石森小6年)が、団員目標を大きな声で朗読しました。中田支部の団種目は、野球、ソフトテニス、卓球、バドミントン、剣道、陸上競技、柔道、バレーボール、空手道、バスケットボール、スポーツチャンバラ、サッカーと多岐にわたっており、会場には各団の指導者や父兄らが詰めかけ、子どもたちの勇姿に今後の活躍を期待していました。



落成式での関係者によるテープカット

陸前豊里駅裏に完成した市豊里運動公園の落成式が5月21日、同運動公園内クラブハウス前で行われました。市長はこの運動公園が市民の交流の場として多くの人に愛され、利用していただくことを願います」とあいさつ。その後、初の試みとなる行政・小・中学校、市民協同による「豊里小・中学校・市民大運動会」が開催され、総勢3000人が参加しました。運動会の進行や会場、競技の準備などは、中学生の生徒たちによるもの。小学生の児童は、中学生の力強い走りや華麗な組体操などの競技に見入っていました。小・中学生に地区住民を混

じえて行われた競技では、和気あいあいの雰囲気会場に漂い、参加者の表情には笑顔が溢れていました。

地域を挙げて笑顔で競技

豊里小・中学校・市民大運動会



元気いっぱいの豊里小児童と一緒に玉入れをする地区住民

歩くことを通じて健康増進とリフレッシュを目的に、スプリングハイイク(追公民館、追勤労青少年ホーム主催)が4月27日、追町内で開催され、40代から70代までの市民が参加しました。大形地区のスタート地点を出発し、長沼湖畔の美しい景色を眺めたり、会話をしたりしながら、約6・5時間をウォーキング。2時間かけて

ウォーキングで春を感じる

追でスプリングハイイク

ゴール地点の長沼フットピア公園に到着しました。到着後、多くの参加者から「まだ歩き足りない」「まだまだ元気」「など声が上がり、急ぎよコースを延長。兵糧山公園までの約2時間を延長し、全員無事にゴールしました。参加者は「今年は天候に恵まれ、桜も満開でとても気持ち良かった。来年もまた参加したい」と話していました。



長沼周辺の春の景色を眺めながらウォーキングを楽しむ参加者

早く収穫できますように

横山小でシイタケ植菌教室



ほだ木の穴に金づちを使ってシイタケの種駒を植菌する横山小児童

横山小3年生が5月12日、総合学習の授業で「シイタケ植菌教室」を行いました。講師は津山林業研究会の阿部政幸会長。森林の働きやスギがどのようなものを利用されているのかなど、分かりやすく説明しました。森林の保水力を比較する実験では、ペットボトルを反対にして石を入れたものと、土と落ち葉を入れたものと同時に水を入れて水の流れる速さで学習。児童たちは目を輝かせながら学んでいました。その後、ほだ木30本に研究会の会員にドリルで穴を開けてもらい、その穴にシイタケの種駒500個を金づちを使って植菌しました。児童たちは植菌したほだ木を、栽培に適した日の当たらない場所に運び、来年秋の収穫を楽しみにしていました。

咲いた咲いた、赤・白・黄色

米山でチューリップまつり



チューリップを背景に多くの家族連れが記念撮影しました

砂嵐による葉の傷みや、資金不足などにより昨年中止となった「米山チューリップまつり」が、地元を愛する市民の手によって復活し、ゴールデンウィーク期間中、町内2

会場で開催されました。地元ボランティア「ふるさと塾」理事長の佐々木久壽さん所有の果樹園約1・5畝には、60種25万本のチューリップが色鮮やかに咲き誇り、多くの観光客でにぎわいました。また、道の駅よねやま「ふる里センターY・Y」では、隣接する約30坪の畑に1万本が咲き並び、訪れた家族連れは立ち止まり記念撮影をするなどして楽しみました。道の駅では、農産物の販売や地元特産のイチゴを使った生ジュース、ソフトクリームが特売され、行列ができるほど大盛況でした。